AMV-８００ Remote 制御詳細

1.Protocol

RS-232C 準拠/RS-485（Half Duplex）準拠

Start Bit	1　固定
Stop Bit	1　固定
Data Bit	8　固定
Parity	Odd or Even or None 可変
Data Rate	2400～38400 bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2.Write command

マルチビューワ（AMV-800）が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「ＭＥＮＵ+CR,LF」を返します。

2-1.Answer

「ＧＯ+CR,LF」	正常受信、正常実行
「ＧＮ+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「Ｅ０+CR,LF」	Framing error
「Ｅ１+CR,LF」	Parity error
「Ｅ２+CR,LF」	Overrun error
「Ｅ３+CR,LF」	Command error
「ＭＥＮＵ+CR,LF」	Menu 状態
「ＬＯＣＫ+CR,LF」	Lock 状態
「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」	Alarm 状態

2-2.Command

2-2-1.アラーム関連

2-2-1-1.「ＡＤＯＦ+CR,LF」（Alarm Display Off）
アラーム状態時の「ＡＬＡＲＭ」という文字表示設定を【ＯＦＦ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-2.「ＡＤＯＮ+CR,LF」（Alarm Display On）
アラーム状態時の「ＡＬＡＲＭ」という文字表示設定を【ＯＮ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-3.「ＡＤＴｎｎｎ+CR,LF」（Alarm Duration Time nnn）
アラーム状態の保持時間を設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。
ｎｎｎは秒数で設定範囲は、【００３】～【９９９】秒です。

2-2-1-4.「AME+CR,LF」（Alarm Mode External）
アラームのモード設定を【ＥＸＴ．】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-5.「AMＩ+CR,LF」（Alarm Mode Internal）
アラームのモード設定を【ＩＮＴ．】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-6.「ＡＰＢ+CR,LF」（Alarm Polarity Break）
アラーム入力の極性設定を【ＢＲＥＡＫ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-7.「ＡＰＭ+CR,LF」（Alarm Polarity Make）
アラーム入力の極性設定を【ＭＡＫＥ】します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-8.「ＡＲＯＦ+CR,LF」（Alarm Return Off）
アラーム リターンの設定を【ＯＦＦ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-9.「ＡＲＯＮ+CR,LF」（Alarm Return On）
アラーム リターンの設定を【ＯＮ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-2.ボーダーライン（分割画面時の境界線）設定

2-2-2-1.「ＢＬＢ+CR,LF」（Border Line Black）
分割画面の境界線設定を【ＢＬＡＣＫ】にします。

2-2-2-2.「ＢＬＧ+CR,LF」（Border Line Gray）
分割画面の境界線設定を【ＧＲＡＹ】にします。

2-2-2-3.「ＢＬＷ+CR,LF」（Border Line White）
分割画面の境界線設定を【ＷＨＩＴＥ】にします。

2-2-2-4.「ＢＬＯ+CR,LF」（Border Line Off）
分割画面の境界線設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-3.自動切換えモード

2-2-3-1.「ＣＡＳＭＭ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Mode Mix）
オートシーケンスのモード設定を【ＭＩＸ】にします。

2-2-3-2.「ＣＡＳＭＤ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Mode Division）
オートシーケンスのモード設定を【ＤＩＶＩＳＩＯＮ】にします。

2-2-3-3.「ＣＡＳＭＳ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Mode Single）
オートシーケンスのモード設定を【ＳＩＮＧＬＥ】にします。

2-2-4.自動切換え時間

2-2-4-1.「ＣＡＳＴＭｎｎｎｎ～ｎｎ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Time Mix ch.01～div.9）
オートシーケンスのミックス・スモードの画面切換え時間を一斉に設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
ｎｎは、単画面 8+分割画面 5＝26bytes です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-2.「ＣＡＳＴＳ０１ｎｎ+CR,LF」～「ＣＡＳＴＳ０８ｎｎ+CR,LF」
（Camera Auto Sequence Time Single screen ch.01～ch.08）
単画面オートシーケンスの画面切換え時間を個別に設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-3.「ＣＡＳＴＳｎｎｎｎ～ｎｎ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Time Single screen）
単画面オートシーケンスの画面切換え時間を一斉に設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
ｎｎは、単画面 8＝16bytes です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-4.「ＣＡＳＴＤ４Ａｎｎ+CR,LF」～「ＣＡＳＴＤ９ｎｎ+CR,LF」
（Camera Auto Sequence Time Division screen Div.4A～Div.9）
分割画面オートシーケンスの画面切換え時間を個別に設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-5.「ＣＡＳＴＤｎｎｎｎ～ｎｎ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Time Division screen）
分割画面オートシーケンスの画面切換え時間を一斉に設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
ｎｎは、分割画面 5＝10bytes です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5.コネクタ入力設定

2-2-5-1.「ＣＩＡ+CR,LF」（Connector In Alarm）
端子台入力の設定を【ＡＬＡＲＭ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-5-2.「ＣＩＲ+CR,LF」（Connector In Remote）
端子台入力の設定を【ＲＥＭＯＴＥ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6.タイトル関連

2-2-6-1.「ＣＴｃｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」（Character Title ch.01～08 set）
ASCII コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。
タイトルの文字長さは 10 文字なので 10 文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
＊は、タイトルで詳細は、最終ページの ASCII Code 表を参照してください。
対応文字については、カタカナ・英数字・記号の一部のみとなります。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-2.「ＣＴＮｃｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」（Character Title do Not memory ch.01～08 set）
ASCII コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。
※書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。
タイトルの文字長さは 10 文字なので 10 文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
＊は、タイトルで詳細は、最終ページの ASCII Code 表を参照してください。
対応文字については、カタカナ・英数字・記号の一部のみとなります。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-3.「ＣＪｃｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊．．．　＊＊＊＊+CR,LF」（Character title JIS ch.01～08 set）
JIS コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。
タイトルの文字長さが 10 文字未満の場合スペース文字（0x2121）を挿入してください。
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
＊＊＊＊は、1 文字 2Bytes コードを上位 4Bit と下位 4Bit に分け ASCII4Bytes になります。
例）0x2121 は、0x32,0x31,0x32,0x31 になります。

対応文字についてはJIS第一水準,第二水準,拡張文字の一部になります。
＊は、10文字×4Bytes＝40Bytesになります。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。
※CJコマンドで設定したタイトルは、AMV-800のメニューで編集できません。

2-2-6-4.「ＣＪＮｃｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊．．．＊＊＊＊+CR,LF」
（Character title JIS do Not memory ch.01～08 set）
JISコードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。
※書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。
タイトルの文字長さが10文字未満の場合スペース文字（0x2121）を挿入してください。
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
＊＊＊＊は、1文字2Bytesコードを上位4Bitと下位4Bitに分けASCII4Bytesになります。
例）0x2121は、0x32,0x31,0x32,0x31になります。
対応文字についてはJIS第一水準,第二水準,拡張文字の一部になります。
＊は、10文字×4Bytes＝40Bytesになります。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。
※CJNコマンドで設定したタイトルは、AMV-800のメニューで編集できません。

2-2-6-5.「ＣＴＤＤＯＦ+CR,LF」（Character Title Display Division screen Off）
分割画面時のタイトル表示を【ＯＦＦ】に設定します。

2-2-6-6.「ＣＴＤＤＯＮ+CR,LF」（Character Title Display Division screen On）
分割画面時のタイトル表示を【ＯＮ】に設定します。

2-2-6-7.「ＣＴＤＳＯＦ+CR,LF」（Character Title Display Single screen Off）
単画面時のタイトル表示を【ＯＦＦ】に設定します。

2-2-6-8.「ＣＴＤＳＯＮ+CR,LF」（Character Title Display Single screen On）
単画面時のタイトル表示を【ＯＮ】に設定します。

2-2-6-9.「ＣＴＦＳＤＬ+CR,LF」（Character Title Font Size Division screen Large）
分割画面時のタイトルの文字サイズを【ＬＡＲＧＥ】に設定します。

2-2-6-10.「ＣＴＦＳＤＳ+CR,LF」（Character Title Font Size Division screen Small）
分割画面時のタイトルの文字サイズを【ＳＭＡＬＬ】に設定します。

2-2-6-11.「ＣＴＦＳＳＬ+CR,LF」（Character Title Font Size Single screen Large）
単画面時のタイトルの文字サイズを【ＬＡＲＧＥ】に設定します。

2-2-6-12.「ＣＴＦＳＳＳ+CR,LF」（Character Title Font Size Single screen Small）
単画面時のタイトルの文字サイズを【ＳＭＡＬＬ】に設定します。

2-2-7.日付,時刻設定

2-2-7-1.「ＤＳＤｎｎ+CR,LF」（Date Set Day）
日付の日の単位を設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【０１】～【３１】日です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-2.「ＤＳＭｎｎ+CR,LF」（Date Set Month）
日付の月の単位を設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【０１】～【１２】月です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-3.「ＤＳＹｎｎ+CR,LF」　(Date Set Year)
日付の年の単位を設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【００】～【９９】年です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-4.「ＴＤＳｙｙｍｍｄｄｈｈｆｆｓｓ+CR,LF」　(Time & Date Set 年月日時分秒)
年月日時分秒を纏めて設定します。
ｙｙは、設定値で設定範囲は【００】～【９９】年です。
ｍｍは、設定値で設定範囲は【０１】～【１２】月です。
ｄｄは、設定値で設定範囲は【０１】～【３１】日です。
ｈｈは、設定値で設定範囲は【００】～【２３】時です。
ｆｆは、設定値で設定範囲は【００】～【５９】分です。
ｓｓは、設定値で設定範囲は【００】～【５９】秒です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-5.「ＴＳA+CR,LF」　(Time Set Adjustment)
時刻の秒の単位を００に設定します。
その時の時刻が３０秒未満の場合００秒に合わせます。
その時の時刻が３０秒以上の場合００秒に合わせ分の単位を＋１します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-6.「ＴＳＨｎｎ+CR,LF」　(Time Set Hour)
時刻の時の単位を設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【００】～【２３】時です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-7.「ＴＳＭｎｎ+CR,LF」　(Time Set Minute)
時刻の分の単位を設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【００】～【５９】分です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-8.「ＴＳＳｎｎ+CR,LF」　(Time Set Second)
時刻の秒の単位を設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【００】～【５９】秒です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8.日付,時刻表示の設定

2-2-8-1.「ＴＳＤＯＦ+CR,LF」　(Time Signal Display Off)
日付,時刻の表示を【ＯＦＦ】に設定します。

2-2-8-2.「ＴＳＤＯＮ+CR,LF」　(Time Signal Display On)
日付,時刻の表示を【ＯＮ】に設定します。

2-2-8-3.「ＴＳＤＲｎ+CR,LF」　(Time Signal Display Range 1～8)
日付,時刻表示のレンジを設定します。
ｎは、設定値で設定範囲は【１】～【８】です。
１は【ＹＭＤＨＭＳ】　年月日時分秒　です。
２は【ＹＭＤＨＭ　】　年月日時分　　です。
３は【ＹＭＤ　　】　年月日　　です。
４は【　ＭＤＨＭＳ】　　月日時分秒　です。
５は【　ＭＤＨＭ　】　　月日時分　　です。
６は【　ＭＤ　　】　　月日　　です。

7は【　　ＨＭＳ】　　時分秒　です。
8は【　　ＨＭ　】　　時分　　です。

2-2-9.NTSC 画面アスペクト比設定

2-2-9-1.「ＮＡＲ４+CR,LF」　(NTSC Aspect Ratio 4:3)
ビデオフォーマットが NTSC のときのアスペクト比を 4:3 に設定します。

2-2-9-2.「ＮＡＲＦ+CR,LF」　(NTSC Aspect Ratio FULL)
ビデオフォーマットが NTSC のときのアスペクト比を FULL に設定します。

2-2-10.電源投入時画面設定

2-2-10-1.「ＰＯＳＳ０１+CR,LF」～「ＰＯＳＳ０８+CR,LF」　(Power on Screen Single 01～08)
電源投入時の表示画面を単画面に設定します。
設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-10-2.「ＰＯＳＤ４Ａ+CR,LF」～「ＰＯＳＤ９+CR,LF」　(Power on Screen Div.4A～Div.9)
電源投入時の表示画面を分割画面に設定します。

2-2-10-3.「ＰＯＳＣＡＳ」　(Power on Screen Camera Auto Sequence)
電源投入時の表示画面を自動切換えに設定します。

2-2-11.ビデオ調整

2-2-11-1.「ＶＡＢｃｃｎｎｎ+CR,LF」　(Video Adjustment Brightness ch.01～08 nnn)
ビデオ調整のブライトネスを各チャンネル個別に設定します。
ｃｃは､チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｎｎｎは､設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】(000～063,-64～-1) です。

2-2-11-2.「ＶＡＢｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」　(Video Adjustment Brightness)
ビデオ調整のブライトネスを全チャンネルまとめて設定します。
ｎｎｎは､設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】(000～063,-64～-1) です。
ｎは､4 チャンネル分×3Bytes＝12Bytes になります。

2-2-11-3.「ＶＡＢＡｎｎｎ+CR,LF」　(Video Adjustment Brightness ch.01～08 All nnn)
ビデオ調整のブライトネスを全チャンネル同一設定します。
ｎｎｎは､設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】(000～063,-64～-1) です。

2-2-11-4.「ＶＡＣｃｃｎｎｎ+CR,LF」　(Video Adjustment Contrast ch.01～08 nnn)
ビデオ調整のコントラストを各チャンネル個別に設定します。
ｃｃは､チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｎｎｎは､設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】です。

2-2-11-5.「ＶＡＣｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」　(Video Adjustment Contrast)
ビデオ調整のコントラストを全チャンネルまとめて設定します。
ｎｎｎは､設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】です。
ｎは､4 チャンネル分×3Bytes＝12Bytes になります。

2-2-11-6.「ＶＡＣＡｎｎｎ+CR,LF」　(Video Adjustment Contrast ch.01～08 All nnn)
ビデオ調整のコントラストを全チャンネル同一設定します。
ｎｎｎは､設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】です。

2-2-11-7.「ＶＡＨｃｃｎｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Hue ch.01～08 nnn)
ビデオ調整のヒューを各チャンネル個別に設定します。
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｎｎｎは、設定値で設定範囲は【０００】～【２５５】です。

2-2-11-8.「ＶＡＨｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Hue)
ビデオ調整のヒューを全チャンネルまとめて設定します。
ｎｎｎは、設定値で設定範囲は【０００】～【２５５】です。
ｎは、4 チャンネル分×3Bytes＝12Bytes になります。

2-2-11-9.「ＶＡＨＡｎｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Hue ch.01～08 All nnn)
ビデオ調整のヒューを全チャンネル同一設定します。
ｎｎｎは、設定値で設定範囲は【０００】～【２５５】です。

2-2-11-10.「ＶＡＳＨｃｃｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness ch.01～08 nn)
ビデオ調整のシャープネスを各チャンネル個別に設定します。
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【００】～【３１】です。

2-2-11-11.「ＶＡＳＨｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness)
ビデオ調整のシャープネスを全チャンネルまとめて設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【００】～【３１】です。

2-2-11-12.「ＶＡＳＨＡｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness ch.01～08 All nn)
ビデオ調整のシャープネスを全チャンネル同一設定します。
ｎｎは、設定値で設定範囲は【００】～【３１】です。
ｎは、4 チャンネル分×2Bytes＝8Bytes になります。

2-2-11-13.「ＶＡＳＡｃｃｎｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation ch.01～08 nnn)
ビデオ調整のサチュレーションを各チャンネル個別に設定します。
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｎｎｎは、設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】です。

2-2-11-14.「ＶＡＳＡｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation)
ビデオ調整のサチュレーションを全チャンネルまとめて設定します。
ｎｎｎは、設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】です。
ｎは、4 チャンネル分×3Bytes＝12Bytes になります。

2-2-11-15.「ＶＡＳＡＡｎｎｎ+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation ch.01～08 All nnn)
ビデオ調整のサチュレーションを全チャンネル同一設定します。
ｎｎｎは、設定値で設定範囲は【０００】～【１２７】です。

2-2-12.ビデオ・ロス

2-2-12-1.「ＶＬ０１ＯＦ+CR,LF」～「ＶＬ０８ＯＦ+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～08 Off)
ビデオ ロスの検出設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-12-2.「ＶＬ０１ＯＮ+CR,LF」～「ＶＬ０８ＯＮ+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～08 On)
ビデオ ロスの検出設定を【ＯＮ】にします。

2-2-12-3.「ＶＬｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～08)
ビデオ ロスの検出設定を一斉にします。
ｏは、「Ｆ」が【ＯＦＦ】, 「Ｎ」が【ＯＮ】です。

2-2-12-4.「ＶＬＡＯＦ+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～08 All Off)
ビデオ ロスの検出を全チャンネル【ＯＦＦ】に同一設定します。

2-2-12-5.「ＶＬＡＯＮ+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～08 All On)
ビデオ ロスの検出を全チャンネル【ＯＮ】に同一設定します。

2-2-12-6.「ＶＬＢＣＢ+CR,LF」 (Video Loss Background Color Blue)
ビデオ ロス時の背景色設定を【ＢＬＵＥ】にします。

2-2-12-7.「ＶＬＢＣＮ+CR,LF」 (Video Loss Background Color Normal)
ビデオ ロス時の背景色設定を【ＮＯＲＭＡＬ】BLACK にします。

2-2-12-8.「ＶＬＤＯＦ+CR,LF」 (Video Loss Display Off)
ビデオ ロスの表示設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-12-9.「ＶＬＤＯＮ+CR,LF」 (Video Loss Display On)
ビデオ ロスの表示設定を【ＯＮ】にします。

2-2-12-10.「ＶＬＳＯＯＦ+CR,LF」 (Video Loss Signal Output Off)
ビデオ ロスの信号出力設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-12-11.「ＶＬＳＯＯＮ+CR,LF」 (Video Loss Signal Output On)
ビデオ ロスの信号出力表示設定を【ＯＮ】にします。

2-2-13.カメラチャンネル（画面）選択

2-2-13-1「ＣＳ０１+CR,LF」～「ＣＳ０８+CR,LF」 (Change Single.01～08)
単画面のチャンネル No. 1 ～08 を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但し ALARM MODE の設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「ＬＯＣＫ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-2.「ＣＤ４Ａ+CR,LF」～「ＣＤ４Ｂ+CR,LF」 (Change Division 4A～4B)
４分割画面 A～B を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但し ALARM MODE の設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除を
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「ＬＯＣＫ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-3.「ＣＤ６Ａ+CR,LF」～「ＣＤ６Ｂ+CR,LF」 (Change Division 6A～6B)
6 分割画面 A～B を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但し ALARM MODE の設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「ＬＯＣＫ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-4. 「ＣＤ９+CR,LF」 (Change Division 9)
9 分割画面（8 画面表示）を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但し ALARM MODE の設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「ＬＯＣＫ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-5.「ＣＣＡＳ+CR,LF」 (Change Camera Auto Sequence)
オートシーケンスの画面切換えを選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但しALARM MODEの設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。
Lock状態の時に、このコマンドを受けますと「ＬＯＣＫ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-14.カメラチャンネル（画面）選択（旧コマンド）

2-2-14-1.「Ｃ０１+CR,LF」～「Ｃ０８+CR,LF」 (Change single.ch.01～08)
単画面のチャンネルNo.１～08を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但しALARM MODEの設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-2.「ＣＡＳ+CR,LF」 (change Camera Auto Sequence)
オートシーケンスの画面切り換えを選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但しALARM MODEの設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-3.「Ｃ４A+CR,LF」～「Ｃ４B+CR,LF」 (Change division 4A～4B)
４分割画面A～Bを選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但しALARM MODEの設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-4.「Ｃ６A+CR,LF」～「Ｃ６B+CR,LF」 (Change division 6A～6B)
6分割画面A～Cを選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但しALARM MODEの設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-5.「Ｃ９+CR,LF」 (Change division 9)
9分割画面（8画面表示）を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但しALARM MODEの設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-15.映像フォーマット

2-2-15-1.「ＶＦＡｎ+CR,LF」 (Video Format All ch.01～08 n)
ビデオ フォーマットを全チャンネル同一設定します。
ｎは、設定値で設定範囲は【１】～【７】です。
１は【ＡＨＤ１０８０ｐ】です。
２は【ＡＨＤ　７２０ｐ】です。
３は【ＨＤ－ＴＶＩ１０８０ｐ】です。
４は【ＨＤ－ＴＶＩ　７２０ｐ】です。
５は【ＨＤ－ＣＶＩ１０８０ｐ】です。
６は【ＨＤ－ＣＶＩ　７２０ｐ】です。
７は【ＮＴＳＣ】です。

2-2-15-2.「ＶＦｃｃｎ+CR,LF」 (Video Format ch.01～08 n)
ビデオ フォーマットを各チャンネル個別に設定します。
ｃｃは､チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｎは､設定値で設定範囲は【１】～【７】です。
１は【ＡＨＤ１０８０ｐ】です。
２は【ＡＨＤ　７２０ｐ】です。
３は【ＨＤ－ＴＶＩ１０８０ｐ】です。
４は【ＨＤ－ＴＶＩ　７２０ｐ】です。
５は【ＨＤ－ＣＶＩ１０８０ｐ】です。
６は【ＨＤ－ＣＶＩ　７２０ｐ】です。
７は【ＮＴＳＣ】です。

2-2-15-3.「ＶＦｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」 (Video Format ch.01～08)
ビデオ フォーマットを全チャンネルまとめて設定します。
ｎは､設定値で設定範囲は【１】～【７】です。
１は【ＡＨＤ１０８０ｐ】です。
２は【ＡＨＤ　７２０ｐ】です。
３は【ＨＤ－ＴＶＩ１０８０ｐ】です。
４は【ＨＤ－ＴＶＩ　７２０ｐ】です。
５は【ＨＤ－ＣＶＩ１０８０ｐ】です。
６は【ＨＤ－ＣＶＩ　７２０ｐ】です。
７は【ＮＴＳＣ】です。

2-2-16.画面配置（分割画面）

2-2-16-1.「ＳＰＤ４Ａｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4A)
４分割Ａ画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、４画面分×2Bytes＝8Bytes になります。

2-2-16-2.「ＳＰＤ４ＡＮｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4A do Not memory)
４分割Ａ画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
※書き換え回数保護の為､設定を記憶しません。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、４画面分×2Bytes＝8Bytes になります。

2-2-16-3.「ＳＰＤ４Ａｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4A No.nn)
４分割Ａ画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０４】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-4.「ＳＰＤ４ＡＮｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4A Not memory No.nn)
４分割Ａ画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
※書き換え回数保護の為､設定を記憶しません。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０４】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-5.「ＳＰＤ４Ｂｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4B)
４分割Ｂ画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、４画面分×2Bytes＝8Bytes になります。

2-2-16-6.「ＳＰＤ４ＢＮｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4B do Not memory)
4 分割 B 画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
※書き換え回数保護の為､設定を記憶しません。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、4 画面分×2Bytes＝8Bytes になります。

2-2-16-7.「ＳＰＤ４Ｂｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4B No.nn)
4 分割 B 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０４】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-8.「ＳＰＤ４ＢＮｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 4B Not memory No.nn)
4 分割 B 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
※書き換え回数保護の為､設定を記憶しません。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０４】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-9.「ＳＰＤ６Ａｃｃｃｃ．．．ｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6A)
6 分割 A 画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、6 画面分×2Bytes＝12Bytes になります。

2-2-16-10.「ＳＰＤ６ＡＮｃｃｃｃ．．．ｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6A do Not memory)
6 分割 A 画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
※書き換え回数保護の為､設定を記憶しません。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、6 画面分×2Bytes＝12Bytes になります。

2-2-16-11.「ＳＰＤ６Ａｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6A No.nn)
6 分割 A 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０６】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-12.「ＳＰＤ６ＡＮｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6A Not memory No.nn)
6 分割 A 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
※書き換え回数保護の為､設定を記憶しません。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０６】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-13.「ＳＰＤ６Ｂｃｃｃｃ．．．ｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6B)
6 分割 B 画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、6 画面分×2Bytes＝12Bytes になります。

2-2-16-14.「ＳＰＤ６ＢＮｃｃｃｃ．．．ｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6B do Not memory)
6 分割 B 画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
※書き換え回数保護の為､設定を記憶しません。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、6 画面分×2Bytes＝12Bytes になります。

2-2-16-15.「ＳＰＤ６Ｂｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6B No.nn)
6 分割 B 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０６】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-16.「ＳＰＤ６ＢＮｎｎｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 6B Not memory No.nn)
6 分割 B 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。
※書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０６】です。
ｃｃはチャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】です。

2-2-16-17.「ＳＰＤ９ｃｃｃｃ．．．ｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 9)
9 分割（8 画面表示）に任意のチャンネルをまとめて配置します。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、8 画面分×2Bytes＝16Bytes になります。

2-2-16-18.「ＳＰＤ９Ｎｃｃｃｃ．．．ｃｃ+CR,LF」 (Screen Placement Division 9 do Not memory)
9 分割（8 画面表示）に任意のチャンネルをまとめて配置します。
※書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。
ｃｃはチャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｃは、8 画面分×2Bytes＝16Bytes になります。

2-2-17.OSD 表示位置微調整

2-2-17-1.「ＯＯＨ００+CR,LF」～「ＯＯＨ１５+CR,LF」 (OSD Offset Horizontal 00～15)
OSD 表示の水平方向の微調整をします。

2-2-17-2.「ＯＯＶ００+CR,LF」～「ＯＯＶ１５+CR,LF」 (OSD Offset Vertical 00～15)
OSD 表示の垂直方向の微調整をします。

2-2-18.ボタン ロック設定

2-2-18-1.「ＬＯＦ+CR,LF」 (Lock Off)
ボタン・ロックを解除します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-18-2.「ＬＯＮ+CR,LF」 (Lock On)
ボタン・ロックを設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-19.オート ゲイン コントロール設定

2-2-19-1.「ＡＧＣ０１ＯＦ+CR,LF」～「ＡＧＣ０８ＯＦ+CR,LF」 (Auto Gain Control ch.01～08 Off)
オート ゲイン コントロール設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-19-2.「ＡＧＣ０１ＯＮ+CR,LF」～「ＡＧＣ０８ＯＮ+CR,LF」 (Auto Gain Control ch.01～08 On)
オート ゲイン コントロール設定を【ＯＮ】にします。

2-2-19-3.「ＡＧＣｏｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」 (Auto Gain Control ch.01～08)
オート ゲイン コントロール設定を一斉にします。
ｏは、「Ｆ」が【ＯＦＦ】，「Ｎ」が【ＯＮ】です。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「Ｅ０+CR,LF」　Framing error
「Ｅ１+CR,LF」　Parity error
「Ｅ２+CR,LF」　Overrun error
「Ｅ３+CR,LF」　Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「ＲＡＤ+CR,LF」（Read Alarm Display）
「ＡＬＡＲＭ」文字表示の設定を返します。
「ＡＤＯＦ+CR,LF」　表示 OFF
「ＡＤＯＮ+CR,LF」　表示 ON

3-2-1-2.「ＲＡＤＴ+CR,LF」（Read Alarm Duration Time）
アラーム保持時間の設定を返します。
「ＡＤＴ００３+CR,LF」～「ＡＤＴ９９９+CR,LF」　3～999 秒

3-2-1-3.「ＲＡＭ+CR,LF」（Read Alarm Mode）
アラーム モードの設定を返します。
「ＡＭＥ+CR,LF」　External（外部）
「ＡＭＩ+CR,LF」　Internal（内部）

3-2-1-4.「ＲＡＰ+CR,LF」（Read Alarm Polarity）
アラーム入力極性の設定を返します。
「ＡＰＢ+CR,LF」　ブレーク（Break）
「ＡＰＭ+CR,LF」　メーク（Make）

3-2-1-5.「ＲＡＲ+CR,LF」（Read Alarm Return）
アラーム リターンの設定を返します。
「ＡＲＯＦ+CR,LF」　OFF
「ＡＲＯＮ+CR,LF」　ON

3-2-2.ボーダーライン（分割画面時の境界線）設定

3-2-2-1.「ＲＢＬ+CR,LF」（Read Border Line）
分割画面の境界線の設定を返します。
「ＢＬＢ+CR,LF」　黒色
「ＢＬＧ+CR,LF」　灰色
「ＢＬＷ+CR,LF」　白色

3-2-3.自動切換えモード

3-2-3-1.「ＲＣＡＳＭ+CR,LF」（Read Camera Auto Sequence Mode）
自動切替えモードの設定を返します。
「ＣＡＳＭＳ+CR,LF」　単画面
「ＣＡＳＭＤ+CR,LF」　分割画面
「ＣＡＳＭＭ+CR,LF」　ミックス

3-2-4.自動切換え時間

3-2-4-1.「ＲＣＡＳＴM+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Mix)
ミックスモードの自動切替え時間設定を連続で返します。
ｎｎは、単画面 8+分割画面 5＝26bytes です。
「ＣＡＳＴMｎｎｎｎ～ｎｎ+CR,LF」

3-2-4-2.「ＲＣＡＳＴＳ+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single)
単画面モードの自動切替え時間設定を連続で返します。
ｎｎは、単画面 8＝16bytes です。
「ＣＡＳＴＳｎｎｎｎ～ｎｎ+CR,LF」

3-2-4-3.「ＲＣＡＳＴＳ０１+CR,LF」～「ＲＣＡＳＴＳ０８+CR,LF」
(Read Camera Auto Sequence Time Single screen ch.01～ch.08)
単画面の自動切替え時間設定を個別に返します。
「ＣＡＳＴＳ０１０１+CR,LF」～「ＣＡＳＴＳ０８９９+CR,LF」

3-2-4-4.「ＲＣＡＳＴD+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Division)
分割画面の自動切替え時間設定を連続で返します。
「ＣＡＳＴDｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」

3-2-4-5.「ＲＣＡＳＴＤ４A+CR,LF」～「ＲＣＡＳＴＤ９+CR,LF」
(Read Camera Auto Sequence Time Division 4A～Division 9)
分割画面の自動切替え時間設定を個別に返します。
「ＣＡＳＴＤ４Ａ０１+CR,LF」～「ＣＡＳＴＤ９９９+CR,LF」

3-2-5.コネクタ入力

3-2-5-1.「ＲＣＩ+CR,LF」 (Read Connector In)
端子台入力の設定を返します。
「ＣＩA+CR,LF」 アラーム
「ＣＩR+CR,LF」 リモート

3-2-6.タイトル関連

3-2-6-1.「ＲＣＴｃｃ+CR,LF」 (Read Character Title ch.01～08)
ASCII コードのタイトル設定 10 文字を各チャンネル個別に返します。
「ＣＴｃｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
＊は、タイトルで詳細は、最終ページの ASCII Code 表を参照してください。
※CJ コマンドでタイトルを設定した場合、RCT コマンドで Read すると誤った Data を返します。

3-2-6-2.「ＲＣＪｃｃ+CR,LF」 (Read Character title JIS ch.01～08)
JIS コードのタイトル設定 10 文字を各チャンネル個別に返します。
「ＣＪｃｃ＊＊＊＊＊＊＊＊＊．．．＊＊＊＊+CR,LF」～
ｃｃは、チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
＊＊＊＊は、1 文字 2Bytes コードを上位 4Bit と下位 4Bit に分け ASCII4Bytes になります。
例）0x2121 は、0x32,0x31,0x32,0x31 になります。
＊は、10 文字×4Bytes＝40Bytes になります。

3-2-6-3.「ＲＣＴＤＤ+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen)
分割画面時のタイトル表示設定を返します。
「ＣＴＤＯＦ+CR,LF」 【ＯＦＦ】
「ＣＴＤＯＮ+CR,LF」 【ＯＮ】

3-2-6-4.「ＲＣＴＤＳ+CR,LF」 (Read Character Title Display Single screen)
単画面時のタイトル表示設定を返します。
「ＣＴＳＯＦ+CR,LF」 【ＯＦＦ】
「ＣＴＳＯＮ+CR,LF」 【ＯＮ】

3-2-6-5.「ＲＣＴＦＳＤ+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Division screen)
分割画面時のタイトルの文字サイズ設定を返します。
「ＣＴＦＳＤＳ+CR,LF」 【ＳＭＡＬＬ】
「ＣＴＦＳＤＬ+CR,LF」 【ＬＡＲＧＥ】

3-2-6-6.「ＲＣＴＦＳＳ+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Single screen)
単画面時のタイトルの文字サイズ設定を返します。
「ＣＴＦＳＳＳ+CR,LF」 【ＳＭＡＬＬ】
「ＣＴＦＳＳＬ+CR,LF」 【ＬＡＲＧＥ】

3-2-7.日付,時刻

3-2-7-1.「ＲＴＤ+CR,LF」 (Read Time & Date)
AMV-800 の日付&時刻を返します。
「ｙｙｙｙ．ｍｍ．ｄｄ ｈｈ：MM：ｓｓ+CR,LF」
ｙｙｙｙ＝年 ｍｍ＝月 ｄｄ＝日 ｈｈ＝時 MM＝分 ｓｓ＝秒

3-2-8.日付,時刻の表示

3-2-8-1.「ＲＴＳＤ+CR,LF」 (Read Time Signal Display)
時刻表示の設定を返します。
「ＴＳＤＯＦ+CR,LF」 OFF
「ＴＳＤＯＮ+CR,LF」 ON

3-2-8-2.「ＲＴＳＤＲ+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)
時刻表示のレンジ設定を返します。
「ＴＳＤＲ１+CR,LF」～「ＴＳＤＲ８+CR,LF」
１は【ＹＭＤＨＭＳ】 年月日時分秒 です。
２は【ＹＭＤＨＭ 】 年月日時分 です。
３は【ＹＭＤ 】 年月日 です。
４は【 ＭＤＨＭＳ】 月日時分秒 です。
５は【 ＭＤＨＭ 】 月日時分 です。
６は【 ＭＤ 】 月日 です。
７は【 ＨＭＳ】 時分秒 です。
８は【 ＨＭ 】 時分 です。

3-2-9.NTSC 画面アスペクト比設定

3-2-9-1.「ＲＮＡＲ+CR,LF」 (Read Screen Aspect Ratio)
ビデオフォーマットが NTSC のときのアスペクト比設定を返します。
「ＮＡＲ４+CR,LF」 4:3
「ＮＡＲＦ+CR,LF」 FULL

3-2-10.電源投入時の画面設定

3-2-10-1.「ＲＰＯＳ+CR,LF」 (Read Power on Screen)
電源投入時の画面設定を返します。

「ＰＯＳＣＡＳ+CR,LF」	オートシーケンス	
「ＰＯＳＳ０１+CR,LF」～「ＰＯＳＳ０８+CR,LF」		単画面
「ＰＯＳＤ４Ａ+CR,LF」～「ＰＯＳＤ４Ｂ+CR,LF」		4 分割画面
「ＰＯＳＤ６Ａ+CR,LF」～「ＰＯＳＤ６Ｂ+CR,LF」		6 分割画面
「ＰＯＳＤ９+CR,LF」		9 分割画面（8 画面表示）

3-2-11.ビデオ調整

3-2-11-1.「ＲＶＡＢ+CR,LF」 (Read Video Adjustment Brightness all ch.01～08)
ビデオ調整のブライトネス設定を全チャンネルまとめて返します。
「ＶＡＢｎｎｎ

3-2-11-8.「ＲＶＡＳＨｃｃ+CR,LF」 (Read Video Adjustment Sharpness ch.01～08)
ビデオ調整のシャープネス設定を各チャンネル個別に返します。
「ＶＡＳＨｃｃｎｎ+CR,LF」
ｃｃは､チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
ｎｎは､設定値で設定範囲は【００】～【３１】です。

3-2-11-9.「ＲＶＡＳＡ+CR,LF」 (Read Video Adjustment Saturation all ch.01～08)
ビデオ調整のサチュレーション設定を全チャンネルまとめて返します。
「ＶＡＳＡｎｎｎ

3-2-13.現在のモード

3-2-13-1.「ＲＭ+CR,LF」（Read Mode）
AMV-800 の現在の状態を返します。
「Ａ０１+CR,LF」～「Ａ０８+CR,LF」 Alarm 保持中 ch.
「Ｓ０１+CR,LF」～「Ｓ０８+CR,LF」 単画面
「Ｄ４A+CR,LF」～「Ｄ９+CR,LF」 分割画面
「ＣＡＳ+CR,LF」 自動切換え中
「ＭＥＮＵ+CR,LF」 Menu 表示中
「ＮＯＲＭＡＬ+CR,LF」 Menu 中でも Alarm 中でもない状態

3-2-14.画面配置（分割画面）

3-2-14-1.「ＲＳＰＤ４A+CR,LF」（Read Screen Placement Division 4A）
4 分割画面 A のチャンネル配置設定をまとめて返します。
「ＳＰＤ４Ａｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-2.「ＲＳＰＤ４Ａｎｎ+CR,LF」（Read Screen Placement Division 4A No.nn）
4 分割画面 A のチャンネル配置設定を個別に返します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０４】です。
「ＳＰＤ４Ａｎｎｃｃ+CR,LF」
ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-3.「ＲＳＰＤ４B+CR,LF」（Read Screen Placement Division 4B）
4 分割画面 B のチャンネル配置設定をまとめて返します。
「ＳＰＤ４Ｂｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-4.「ＲＳＰＤ４Ｂｎｎ+CR,LF」（Read Screen Placement Division 4B No.nn）
4 分割画面 B のチャンネル配置設定を個別に返します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０４】です。
「ＳＰＤ４Ｂｎｎｃｃ+CR,LF」
ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-5.「ＲＳＰＤ６A+CR,LF」（Read Screen Placement Division 6A）
6 分割画面 A のチャンネル配置設定をまとめて返します。
「ＳＰＤ６Ａｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-6.「ＲＳＰＤ６Ａｎｎ+CR,LF」（Read Screen Placement Division 6A No.nn）
6 分割画面 A のチャンネル配置設定を個別に返します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０６】です。
「ＳＰＤ６Ａｎｎｃｃ+CR,LF」
ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-7.「ＲＳＰＤ６B+CR,LF」（Read Screen Placement Division 6B）
6 分割画面 B のチャンネル配置設定をまとめて返します。
「ＳＰＤ６Ｂｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」 ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-8.「ＲＳＰＤ６Ｂｎｎ+CR,LF」（Read Screen Placement Division 6B No.nn）
6 分割画面 B のチャンネル配置設定を個別に返します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０６】です。
「ＳＰＤ６Ｂｎｎｃｃ+CR,LF」
ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-9.「ＲＳＰＤ９+CR,LF」 (Read Screen Placement Division 9)
9 分割画面（8 画面表示）のチャンネル配置設定をまとめて返します。
「ＳＰＤ９ｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃｃ+CR,LF」
ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-14-10.「ＲＳＰＤ９ｎｎ+CR,LF」 (Read Screen Placement Division 9 No.nn)
9 分割画面（8 画面表示）のチャンネル配置設定を個別に返します。
ｎｎは配置番号で設定範囲は【０１】～【０８】です。
「ＳＰＤ９ｎｎｃｃ+CR,LF」
ｃｃはチャンネル番号【０１】～【０８】です。

3-2-15.映像フォーマット

3-2-15-1.「ＲＶＦ+CR,LF」 (Read Video Format All ch.01～08)
ビデオ フォーマット設定を全チャンネルまとめて返します。
「ＶＦｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」
ｎは､設定値で設定範囲は【1】～【7】です。
1は【ＡＨＤ１０８０ｐ】です。
2は【ＡＨＤ　７２０ｐ】です。
3は【ＨＤ－ＴＶＩ１０８０ｐ】です。
4は【ＨＤ－ＴＶＩ　７２０ｐ】です。
5は【ＨＤ－ＣＶＩ１０８０ｐ】です。
6は【ＨＤ－ＣＶＩ　７２０ｐ】です。
7は【ＮＴＳＣ】です。

3-2-15-2.「ＲＶＦｃｃ+CR,LF」 (Read Video Format ch.01～08)
ビデオ フォーマット設定を各チャンネル個別に返します。
「ＶＦｃｃｎ+CR,LF」
ｃｃは､チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【０４】です。
ｎは､設定値で設定範囲は【1】～【7】です。
1は【ＡＨＤ１０８０ｐ】です。
2は【ＡＨＤ　７２０ｐ】です。
3は【ＨＤ－ＴＶＩ１０８０ｐ】です。
4は【ＨＤ－ＴＶＩ　７２０ｐ】です。
5は【ＨＤ－ＣＶＩ１０８０ｐ】です。
6は【ＨＤ－ＣＶＩ　７２０ｐ】です。
7は【ＮＴＳＣ】です。

2-2-16.OSD 表示位置微調整

3-2-16-1.「ＲＯＯＨ+CR,LF」 (Read OSD Offset Horizontal)
OSD 表示の水平方向の微調整値を返します。
「ＯＯＨ００+CR,LF」～「ＯＯＨ１５+CR,LF」

3-2-16-2.「ＲＯＯＶ+CR,LF」 (Read OSD Offset Vertical)
OSD 表示の垂直方向の微調整値を返します。
「ＯＯＶ００+CR,LF」～「ＯＯＶ１５+CR,LF」

3-2-17.ボタン ロック

3-2-17-1.「ＲＬ+CR,LF」 (Read Lock condition)
ボタン ロックの状態を返します。
「ＬＯＦ+CR,LF」 ロック OFF
「ＬＯＮ+CR,LF」 ロック ON

3-2-18 オート ゲイン コントロール設定

3-2-18-1.「ＲＡＧＣ+CR,LF」 (Read Auto Gain Control ch.01～08)
オート ゲイン コントロールの全設定を返します。
「ＡＧＣｏｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」
ｏは、「Ｆ」OFF, 「Ｎ」ON です。

3-2-18-2.「ＲＡＧＣ０１+CR,LF」～「ＲＡＧＣ０８+CR,LF」 (Read Auto Gain Control ch.01～08)
オート ゲイン コントロールの個別設定を返します。
「ＡＧＣ０１ＯＦ+CR,LF」～「ＡＧＣ０８ＯＮ+CR,LF」

3-2-19.バージョン・ナンバー

3-2-19-1.「ＲＶＮ+CR,LF」 (Read Version Number)
AMV-800 のバージョン・ナンバーを返します。
「AMV－８００ Ｖｅｒ．ｎ．ｎｎ+CR,LF」 ｎは数値です。

4.ご注意

Command の発行と同時に AMV-800 のフロントスイッチを操作されますと誤った Answer を返すことがあります。
Command の発行を連続で行う場合 200mSeconds.以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。
Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

CT や CJ のタイトル設定のコマンド発行を連続で行う場合 600mSeconds.以上の間隔をあけて下さい。
CJ コマンドで設定したタイトルは、AMV-800 のメニューで編集できません。
CJ コマンドで設定したタイトルを RCT コマンドで Read すると誤った Data を返します。

JIS X0208 第 1 水準は 3,562 文字です。
0x222f～0x2239,0x2242～0x2249,0x2251～0x225b,0x226b～0x2271,0x227a～0x227d,
0x2321～0x232f,0x233a～0x2340,0x235b～0x2360,0x237b～0x237e,0x2474～0x247e,
0x2577～0x257e,0x2639～0x2640,0x2659～0x267e,0x2742～0x2750,0x2773～0x277e,
0x2841～0x2c7e,0x2d3f,0x2d57～0x2d5e,0x2d70～0x2d72,0x2d74～0x2d77,
0x2d7a～0x2f7e,0x4f54～0x4f7e のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427～0x7e7e のコードは除きます。
拡張文字は、0x7921～0x7c6e の漢字 360 文字, 0x7c71～0x7c7a,0x7c7d,0x7c7e の記号 12 文字。
合計 7,324 文字です。

5.変更履歴

2018.11.19	初版
2019.07.05	オート ゲイン コントロール設定（2-2-19, 3-2-18）を追加

ASCII Code 表（16 進）

SPACE	２０Ｈ	ａ	６１Ｈ	タ	Ｃ０Ｈ
		ｂ	６２Ｈ	チ	Ｃ１Ｈ
：	３ＡＨ	ｃ	６３Ｈ	ツ	Ｃ２Ｈ
）	２８Ｈ	ｄ	６４Ｈ	テ	Ｃ３Ｈ
（	２９Ｈ	ｅ	６５Ｈ	ト	Ｃ４Ｈ
ー	２ＤＨ	ｆ	６６Ｈ		
．	２ＥＨ	ｇ	６７Ｈ	ナ	Ｃ５Ｈ
／	２ＦＨ	ｈ	６８Ｈ	ニ	Ｃ６Ｈ
		ｉ	６９Ｈ	ヌ	Ｃ７Ｈ
０	３０Ｈ	ｊ	６ＡＨ	ネ	Ｃ８Ｈ
１	３１Ｈ	ｋ	６ＢＨ	ノ	Ｃ９Ｈ
２	３２Ｈ	ｌ	６ＣＨ		
３	３３Ｈ	ｍ	６ＤＨ	ハ	ＣＡＨ
４	３４Ｈ	ｎ	６ＥＨ	ヒ	ＣＢＨ
５	３５Ｈ	ｏ	６ＦＨ	フ	ＣＣＨ
６	３６Ｈ	ｐ	７０Ｈ	ヘ	ＣＤＨ
７	３７Ｈ	ｑ	７１Ｈ	ホ	ＣＥＨ
８	３８Ｈ	ｒ	７２Ｈ		
９	３９Ｈ	ｓ	７３Ｈ	マ	ＣＦＨ
		ｔ	７４Ｈ	ミ	Ｄ０Ｈ
Ａ	４１Ｈ	ｕ	７５Ｈ	ム	Ｄ１Ｈ
Ｂ	４２Ｈ	ｖ	７６Ｈ	メ	Ｄ２Ｈ
Ｃ	４３Ｈ	ｗ	７７Ｈ	モ	Ｄ３Ｈ
Ｄ	４４Ｈ	ｘ	７８Ｈ		
Ｅ	４５Ｈ	ｙ	７９Ｈ	ヤ	Ｄ４Ｈ
Ｆ	４６Ｈ	ｚ	７ＡＨ	ィ	Ａ８Ｈ
Ｇ	４７Ｈ			ユ	Ｄ５Ｈ
Ｈ	４８Ｈ	ア	Ｂ１Ｈ	ェ	ＡＡＨ
Ｉ	４９Ｈ	イ	Ｂ２Ｈ	ヨ	Ｄ６Ｈ
Ｊ	４ＡＨ	ウ	Ｂ３Ｈ		
Ｋ	４ＢＨ	エ	Ｂ４Ｈ	ラ	Ｄ７Ｈ
Ｌ	４ＣＨ	オ	Ｂ５Ｈ	リ	Ｄ８Ｈ
Ｍ	４ＤＨ			ル	Ｄ９Ｈ
Ｎ	４ＥＨ	カ	Ｂ６Ｈ	レ	ＤＡＨ
Ｏ	４ＦＨ	キ	Ｂ７Ｈ	ロ	ＤＢＨ
Ｐ	５０Ｈ	ク	Ｂ８Ｈ		
Ｑ	５１Ｈ	ケ	Ｂ９Ｈ	ワ	ＤＣＨ
Ｒ	５２Ｈ	コ	ＢＡＨ	ン	ＤＤＨ
Ｓ	５３Ｈ			ッ	ＡＦＨ
Ｔ	５４Ｈ	サ	ＢＢＨ	ャ	ＡＣＨ
Ｕ	５５Ｈ	シ	ＢＣＨ	ュ	ＡＤＨ
Ｖ	５６Ｈ	ス	ＢＤＨ	ョ	ＡＥＨ
Ｗ	５７Ｈ	セ	ＢＥＨ	ァ	Ａ７Ｈ
Ｘ	５８Ｈ	ソ	ＢＦＨ	ォ	ＡＢＨ
Ｙ	５９Ｈ			゛	ＤＥＨ
Ｚ	５ＡＨ			゜	ＤＦＨ